

I 計画策定の考え方

1 計画策定のねらい

広範な分野にわたる市政を総合的に運営していくためには、時代背景や現状など名古屋市を取り巻く状況を認識した上で、その方向性と取り組みを明確に示した計画が必要です。

本市は今後、出生数の減少による人口の減少や、リニア中央新幹線の開業など、時代の大きな転換点を迎えます。また、増加する高齢者への対応、発生が懸念されている南海トラフ巨大地震への対応やグローバルな都市間競争の激化など、大きな課題に直面しています。こうした情勢のもとで、長期的な展望を持って市政運営をすすめていく必要性が高まっています。加えて、これからの取り組みには、本市だけではなく、市民、企業やその他さまざまな主体と連携しながら、同じ方向性を持ってすすめていくことが必要です。

一方で、一人ひとりの基本的人権が守られ、健康で文化的な生活を営むことができる個性豊かなまちをめざすとともに、名古屋大都市圏[※]の中心都市として、圏域全体を見据えた市政運営をすすめる必要があります。

また、今後も厳しい財政状況が見込まれる中で、継続的に行政改革に取り組みつつ、活用できる資源を最適に配分しながら多様化・複雑化する市政の課題や市民のニーズに的確に対応できるよう、選択と集中により実効性のある戦略的な計画が求められます。

このようなことから本計画は、「世界のナゴヤ、本物ナゴヤ、ぬくとい市民」の実現をめざして、まちづくりの方向性を明確化するとともに、本市のめざす都市像を実現するために取り組む施策等を明示することを目的として策定します。

名古屋大都市圏：名古屋大都市圏の範囲は、地域特性をふまえ、産業、観光、防災など分野ごとに柔軟にとらえることとします。詳細は第Ⅲ章5「名古屋大都市圏の成長と新たな大都市制度のあり方」に述べています。

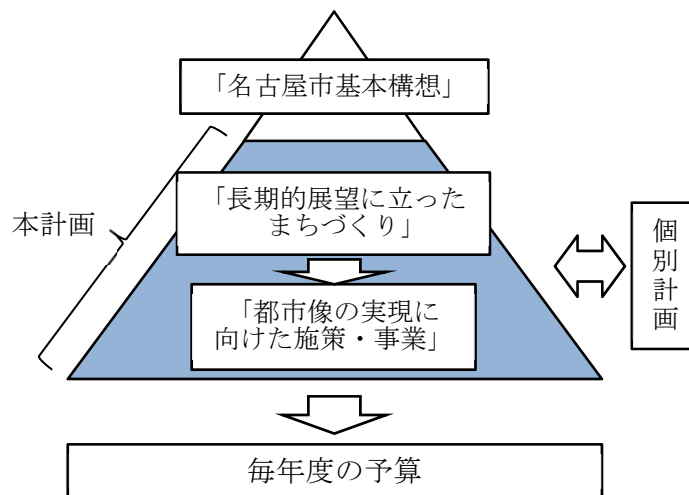
2 計画の全体像

(1) 計画の位置づけ

本計画は、「名古屋市基本構想」のもとに、まちづくりの方針・めざす都市の姿・重点戦略などを「長期的展望に立ったまちづくり」に示し、そのもとに「都市像の実現に向けた施策・事業」を総合的・体系的に示した計画として策定します。

なお、本市の各分野の個別計画は、本計画と整合をはかります。

また本計画をふまえ、毎年度の予算を編成します。



(2) 計画期間

本計画の計画期間は平成 26 (2014) 年度から平成 30 (2018) 年度までの 5 年間です。「長期的展望に立ったまちづくり」には、15 年先の将来を見据えたまちづくりの方針などを描き、「都市像の実現に向けた施策・事業」には計画期間内に取り組む施策と関連する事業を掲載しています。

(年度)															
平成 25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
(2013)	(2014)	(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)	(2027)	(2028)
<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 10px; border-radius: 5px; display: inline-block; width: 80%;"> 「長期的展望に立ったまちづくり」 ・ ・ ・ 15 年先の将来を見据えたまちづくりの方針など </div>															
<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 10px; border-radius: 5px; display: inline-block; width: 30%;"> 「都市像の実現に向けた施策・事業」 </div>															
<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid #4a86e8; padding: 5px; width: 25%;">本市人口が減少局面に入ると推計 (H29)</div> <div style="border: 1px solid #4a86e8; padding: 5px; width: 25%;">東京オリンピック・パラリンピック開催 (H32)</div> <div style="border: 1px solid #4a86e8; padding: 5px; width: 25%;">団塊の世代が後期高齢者に (H34)</div> <div style="border: 1px solid #4a86e8; padding: 5px; width: 25%;">リニア中央新幹線開業予定 (H39)</div> </div>															

(3) 計画の構成

本計画では、まず「計画策定の考え方」を示し、次に「名古屋を取り巻く状況」をまとめています。その上で、「長期的展望に立ったまちづくり」を示し、これをすすめていくための「都市像の実現に向けた施策・事業」を掲載します。

I 計画策定の考え方

- 1 計画策定のねらい 2 計画の全体像

II 名古屋を取り巻く状況

1 名古屋の概況

2 人口と世帯数の見通し

3 本市を取り巻く潮流

- (1) 少子化・高齢化
- (2) 災害に対する不安の高まり
- (3) リニア中央新幹線の開業
- (4) 価値観・ライフスタイルの多様化
- (5) グローバル化の進展
- (6) 環境問題の多様化
- (7) 公共施設の老朽化
- (8) 行政課題の広域化・多様化

4 重点課題

- (1) 人口減少社会における人口構造の変化への対応
- (2) 南海トラフ巨大地震への対応
- (3) リニア中央新幹線の開業等への対応

III 長期的展望に立ったまちづくり

1 まちづくりの方針

名古屋だからこそできる未来につながる持続可能なまちづくり【歴史に残る街・ナゴヤ】

2 めざす都市の姿

(1) めざす4つの都市像

- 都市像1** 人権が尊重され、誰もがいきいきと過ごせるまち
- 都市像2** 災害に強く安全に暮らせるまち
- 都市像3** 快適な都市環境と自然が調和するまち
- 都市像4** 魅力と活力にあふれるまち

(2) 将来の都市構造

3 重点戦略

- 戦略1** 子育て世代に選ばれるまちをつくとともに、地域の活力を高めます
- 戦略2** 市民・企業・行政の総力で大規模災害へ備えます
- 戦略3** 国際的な都市間競争を勝ち抜く、大きく強い名古屋をつくります

4 市政運営の取り組み

- (1) 市民主体の市政運営
- (2) 将来を見据えた市政運営

5 名古屋大都市圏の成長と新たな大都市制度のあり方

- (1) 圏域全体の成長に向けたビジョン
- (2) 新たな大都市制度の実現に向けた取り組み

IV 都市像の実現に向けた施策・事業